

- 【注意事項】 答えは別紙の答案用紙に記入すること。問題用紙は回収しない。
解答順は自由。答案用紙には、どの問題か分かるように記載すること。
答えには答えだけではなく、導出の過程も記すこと。導出の過程にも配点がある。
- 【参照許可物】 講義で配布した正規分布表を使用する。この用紙の余白・裏面に手書きメモの書き込みを許可する（この用紙一枚以外のメモ参照は許可しない）。簡易な電卓の使用を許可する（関数電卓・携帯電話は不可）。
- 【成績判定】 本定期試験は 80 点満点。中間テスト 2 回を 20 点換算として成績を判定する。
成績評価「D」の合格判定に用いる問題は、1, 2, 3, 6 である。

1 確率の問題。2 問を選択して答えよ。(16 点)

- (1) サイコロ 2 つを振り、出た目の積が奇数になったときだけ、出た目の積 $\times 1000$ 円のお年玉がもらえる。期待値(金額)はいくらか。
- (2) 選択肢 4 つのうち、1 つだけ正解の問題がある。難しかったので、学生 8 人がランダムに解答した。少なくとも 2 人が正解する確率を求めよ。
- (3) A, B の 2 人が、この順に $1/n$ の確率で当たるくじを引き、最初に当たりが出た人を勝ちとする。それぞれが勝つ確率 P_A, P_B を求めよ。

2 条件つき確率の問題 (16 点)

1 万人に 1 人の割合で罹患する病気 X がある。その病気の検査薬として、罹患している人に陽性反応が出る確率が 99%、罹患していない人に陰性反応が出る確率が 99%である。

- (a) 検査を受けて、陽性反応が出た人が、この病気 X に罹患している確率を求めよ。
- (b) 後日、陽性反応が出た人全員を対象にして再検査が行われた。このときも陽性反応が出た人が、病気 X に罹患している確率を求めよ。

3 確率分布の問題 (8 点)

連続型確率分布(確率密度関数 $f(x)$) に対して、期待値を $E[X]$ 、分散を $V[X]$ とする。次の関係式を示せ。

- (1) $V[X] = E[X^2] - (E[X])^2$
- (2) $E[aX + b] = aE[X] + b$ (a, b を定数とする)

4 確率分布の問題 (12 点)

- (1) ある教室には 100 台の PC が設置されていて、それぞれの PC の 1 日後の故障率は $1/100$ である。教室全体で、1 日後に 1 台以上故障している確率を求めよう。
- (a) 2 項分布にしたがうと考えて求めよ。 $0.99^{100} = 0.3660$, $0.99^{99} = 0.3697$ である。
- (b) Poisson 分布 $[P(X = k) = e^{-\lambda} \frac{\lambda^k}{k!}, (k = 0, 1, 2, \dots)]$ にしたがうと考えて求めよ。 $e = 2.718$, $e^{-1} = 0.3678$ である。
- (2) 試験の採点結果が平均点が 72 点、標準偏差が 12 点の正規分布にしたがうとする。成績を以下の表のように評価するとき、表の空欄 アオ を埋めよ。

評価	素点	偏差値	人数比
A	80 点以上	<input type="text"/> イ 以上	<input type="text"/> エ %
B	72 点以上 80 点未満	50 以上 <input type="text"/> イ 未満	<input type="text"/> オ %
C	<input type="text"/> ア 点以上 72 点未満	<input type="text"/> ウ 以上 50 未満	20%
D	<input type="text"/> ア 点未満	<input type="text"/> ウ 未満	30%

5 2 問を選択して答えよ。(20 点)

- (1) サイコロを 600 回投げたとき、ア の目が 80 回以上 100 回以下の回数で出る確率 P_{600} と、サイコロを 1200 回投げたとき、イ の目が 160 回以上 200 回以下の回数で出る確率 P_{1200} は、どちらが大きいか。理由を添えて説明せよ。
- (2) 人口 100 万人の都市で、テレビの視聴率調査を行う。信頼度 95% で、母比率の区間推定誤差を 1% 以下とするためには、何件のデータが必要となるか。
- (3) 「授業に出た学生の方が成績が良い」という仮説を立てた。対立仮説 H_1 と、帰無仮説 H_0 をそれぞれ述べ、仮説検定の方法について説明せよ。

6 ベイズの定理を応用した問題を作成し、解答例を示せ。(8 点)